

いわき地域産業6次化ネットワーク交流会を開催

〔12月9日(木)〕

県いわき合同庁舎において、市内の事業者を対象に地域産業6次化に関する講演会及び個別相談会を実施しました。

講演会には事業者など30名が参加し、株式会社いわきユナイト代表取締役の植松謙氏を講師に迎え、「アフターコロナを生き抜くための「ファンづくり」と「ブランドづくり」と題し、「モノ消費」「コト消費」から「トキ消費」「イミ消費」へのマーケティングの変遷やアフターコロナにおける「顧客の囲い込み」と「選ばれるブランドづくり」の重要性などを具体的な事例も合わせて紹介していただきました。

また、個別相談会ではふくしま地域産業6次化サポートセンターの協力により、植松氏とビジネスプランナーの瀬田恒夫氏から、商品開発や販路拡大、事業計画策定等に関するアドバイスがありました。

参加者からは、「時代に合ったマーケティングには『想いの発信』と『一貫性』が大切だと実感した」「トキ消費・コト消費という視点が参考になった」「いわきにおける6次化の交流拡大や一丸となった販路拡大に向けてサポートの継続を望む」などの意見があり、好評のうちに終了しました。

県では、今後も関係機関と連携しながら、事業者の皆さまの地域産業6次化の取組を支援してまいりますので、当所及び6次化サポートセンターいわき事務所までお気軽にご相談ください。

(企画部)



【左】植松氏による講演 【右上】個別相談会 瀬田氏 【右下】個別相談会 植松氏